

美術科授業案

日時 令和元年10月23日(水)
生徒 3年C組 男子16名 女子17名 計33名
授業場 美術室
授業者 更科結希

1 題材名 くしろマスタープラン～住みよい暮らしを目指して～〔A表現(1)イ(ウ),(2)〕

2 題材の目標

釧路の街の理想と現実を住民の視点で考え、社会や自然とかかわるデザインの役割や住民にとって住みよい街にするための建造物デザインについて考えられるようにする。また、形や色彩、素材などが人々にどのような印象を与えるかを踏まえ、発想し構想する力を養う。そして、課題を克服しながら創意工夫して、表現を通して街に対する願いや表現の価値を見だし、主体的に取り組めるようにする。

3 題材観・生徒観・指導観

(1) 題材観

美術科において、感性や想像力などを豊かに働かせて、思考・判断し、表現したり鑑賞するなどの資質・能力を相互に関連させながら育成することや生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術文化についての実感的な理解を深めることに更なる充実が求められている。

そこで、学習指導要領の内容で示されている使う目的や条件などを基に、使用する者の立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練り、それらを基に、意図に応じた表現方法の追求と制作や順序などを総合的に考えながら見通しを持って表す内容で授業を構成した。

本題材は、扱う対象や事象を「釧路の街の中心―北大通―」の理想と現実とし、この地域に散在する課題に対してどのような改善が望まれるかを考え、アーバンデザインとして構想を練り住民に寄り添う住みよい街にするための起点となる建造物を考え、デザインボードに表していくものとする。

対象学級は、美術の意識調査の結果(4段階評価)では、美術の授業は大切である(3.9)、美術の学習は生活を明るくするのに役立つ(4.0)との結果に対し、今までの学習を生かして課題について考える(3.6)、授業の内容が自分の生活や他の学習にどのような関わりがあるかを考えながら学習に望んでいる(3.7)といったように、授業の取組と既習や他教科、生活との関連において若干の数値の低さが確認されている。これは、本教科の課題とされている生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術文化についての実感的な理解を深め生活や社会と豊かに関わる態度の育成と深く関わりがあるものと押さえた。本題材は、こうした課題を解決するものとして設定した。

今年度の図画工作・美術科が目指す児童・生徒像は「創造活動の価値を見いだすことができる子供の育成」とした。毎時間の表現活動の積み重ねによって生み出されたものに対し、価値を見いだしていくことが、これからの社会を生きる子供たちに必要な資質・能力となるだろう。

そのために、理想や現実を捉えるために、釧路市から出されている全体構想、生徒の住民としての声と住民に寄り添った建造物を造形的な視点で捉え、受ける印象などの学習を経て、地域の現状を改善するための新たな建造物のデザインを構想していく学習過程とした。

4. 教科等横断的カリキュラム見取り表とのかかわり

技術・家庭科と合科で取り組んでいる釧路の町の改善を HP で発信する題材との関連題材である。本題材は、対象を捉える際に①社会科の社会に見られる課題の解決に向け選択・判断したりすること、②数学科では日常生活や社会の問題を数理的に捉えること、③技術・家庭科では生活や社会の中から問題を見出し課題を設定し、解決策を構想すること、④総合的な学習の時間の自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析してまとめ・表現することに関わる資質・能力と関連している。今回の対象や事象が釧路市のある地区ということから、様々な教科の見方・考え方で捉え、造形的な視点から自らの考えを創出させていくことが大切である。

5. 題材を通して育むリーダーシップ・フォロアワーシップの資質・能力

今年度、本校が目指す生徒像に向かうため、本教科では問題解決力の育成に焦点を当てた。そもそも、表現の学習は表したいことを基に資質・能力を相互に働かせながら問題解決をする学習そのものであると述べられている。その過程の中で、解決すべき課題に向き合い主題を生み出し、「学び合い」（＝対話的な学び）の中で主体的に主題を追求していくために、教師側が生徒に対し思考を拡大していけるような資料を提示することによって促進させたい。

6. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ア 街並みや街を構成する建造物を捉えるための造形的な視点を理解している。 イ 主題を元に、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表現している。	ア 街並みにおける建造物の役割や釧路の街の理想の姿を造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和の視点から独創的・総合的に考えている。 イ 主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、社会における美術の働きなどについて見方や感じ方を深めたりしている。	ア 都市計画を通して、釧路の街の将来を考えながら、自分の考えを表す活動の価値を見だし、主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。

7. 単元（題材）計画

時数	○主な学習活動	評価の観点			学び合いの過程 手立て
		知	思	主	
1	<p>○課題把握・調査活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路市の示す理念と現状について考えを共有し、改善に向けた調査を行う。 ・ 各班で都市計画をする上で、互いが考えた理想の姿から、テーマを生成する <p>○北大通にターゲット地区*を設定し、周囲の環境を踏まえ、改善策を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ターゲット地区の景観から自分たちの理想を組み合わせ、どのような空間としたいか考える。 ・ 必要とされている場所の構想 ・ どの地区に置くことで効果が得られるか ・ どのような外観が最適か ・ どのような機能を持った建造物が住民にとって住みよい環境を提供できるか考える。 	ア		ア	<p>手立てⅠ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学び合う活動を促す題材として、生徒が主体となる「住民としての視点」を取り入れた学習過程を構造化することにより、主題の生成から発想・構想～創造的な技能へと結びつけていく
2	<p>+</p> <p>㊦北大通の建造物の特徴から、イメージを共有する</p> <p>*ターゲット地区＝北大通で特に改善したいと考えた地区</p> <p>+</p>		ア	ア	<p>手立てⅡ</p> <p>【導入時】: 理想と釧路市の全体構想との差異を全体共有することで、主題の生成に結びつける</p> <p>【発想・構想】: 鑑賞資料から、建造物を構成する要素を見出し、主題を追求に向かう発想・構想に結び付けていく</p>
3 (本時)	<p>○主題の追求</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主題に合う、ターゲット地区に必要な建造物を表す <p>㊦鑑賞作品から主題に基づいた表現の工夫や表現にことについて考える</p> <p>㊦色彩や素材が感情にもたらす効果について考える。</p>	イ	ア		<p>手立てⅡ</p> <p>【主題の追求】: 鑑賞資料から、建造物を構成する要素を見出し、主題を追求に向かう発想・構想に結び付けていく</p>
4 5 6	<p>○建造物のデザインとデザインボードへのまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンペティションに向けた誰に対しても分かりやすい構成でのデザインボードをまとめていく 	イ	アイ	ア	
展示	釧路中央図書館 7F で、釧路市民に向けた展覧会を開催する。				

8. 本時案

(1) 本時の目標

住民としての視点を生かしながら、釧路市民にとって住みよい環境を考え、建造物の機能を踏まえた上で、形や色彩、素材などを検討しながら建造物のデザインを考える。また、主題を実現するための工夫について、他者と考えを共有しながら、主体的に学習活動に取り組み、次時の課題を見出す。

(2) 本時の展開 (3 / 5)

<p>学習活動 児童・生徒の姿 <input type="checkbox"/> 教師の働きかけ・発問, <input type="checkbox"/> 補助発問, <input type="checkbox"/> 指示・説明 手立て</p>	<p>【評価の観点】 ◇ 評価の内容 ・ 指導上の留意点</p>
<p>1 鑑賞作品から、資料から形や色のイメージを抽出する 手立て</p> <p><input type="checkbox"/> この建物の特徴はどんな所だろうか</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋根の形が波打っている・建物より屋根が随分と広い・ガラス張りの面がある </div> <p><input type="checkbox"/> この建造物は、2014年宮城県の漁業と海水浴で賑わう海岸沿いに建てられた「宮戸島月浜のみんなの家」といいます。</p> <p><input type="checkbox"/> どうしてこんなデザインになったのだろうか</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海や波の形から屋根ができています ・ 室内からでも海を見渡せるように </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;"> </div> <p><input type="checkbox"/> △地図で建造物の周辺の環境を踏まえて考えてみよう</p> <p><input type="checkbox"/> この場所にはどんな人たちが集まりそうだろうか</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の人 ・ 漁師の人 ・ 海水浴の人 </div>	<p>使手 意匠 周辺環境 【知】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◇ 資料と資料の背景を想像し、意匠を感じ取り工夫されていることに着目し、WSに記入することができる</p> </div>
<p>2 建造物のデザインを考える</p> <p><input type="checkbox"/> みなさん作ろうとしているデザインは、ターゲット地区の特徴から人々がどんな住みよさを感じるために考えていますか？</p> <p><input type="checkbox"/> △ターゲット地区との関連はどんなところだろうか。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館の近くに、誰もがくつろげるカフェをいれた空間をつくりたい </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の人が集まって、何かできるスペースを作りたい。老人ホームの近くが良い </div> </div> <p><input type="checkbox"/> 市民が住みよいと感じ、各班のテーマを実現できる建造物をデザインしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平面で描き表してもよい・立体で表してもよい・素材のサンプル ・ 外観からデザインしていく（内観の表し方は生徒に委ねる） 	<p>意匠 周辺環境 【思・判・表】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◇ 主題を追求するための要素を明らかにしている</p> </div>
<div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <p><input type="checkbox"/> △現在、皆さんはどんな要素を考慮してデザインを考えていますか？</p>	<p>意匠</p> <p>・ デザインの表出方法としては、平面・立体での表現を問わないこととする。</p> <p>【思・判・表】【知・技】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◇ 主題を追求するための要素を確認しながら、スケッチを行うことができる</p> </div>
<p>3 本時の取組を振り返り次時の見通しを padlet に入力する。</p> <p><input type="checkbox"/> 今日学習の中で、新たな視点、そしてそれについて考えたことや次時の見通しについて記録しましょう。</p>	

